

歴史遺産研究

Bulletin of the Department of Historic Heritage,
Tohoku University of Art and Design

第18号

目次

論文

民俗行事における外部者と情報保存における困難
— 山形県上山市における民俗行事「加勢鳥」を事例に —

松田 俊介 MATSUDA Shunsuke (1)

近世村落における里修験の社会的役割
— 栃木県日光市瀬尾地区「仙学院」を事例に —

加藤 彩花 KATO Ayaka (11)

土製耳飾の形態分類による遺跡間関係の把握
— 縄文時代後・晩期の群馬県域と長野県域の事例 —

松原 奈々 MATSUBARA Nana (23)

近世東北大名家墓所における五輪塔の型式学的研究
— 変遷と地域性 —

吉田 麻鈴 YOSHIDA Marin (33)

報告

山形県酒田市生石2遺跡発掘調査概要報告3

青野 友哉 AONO Tomoya

北野 博司 KITANO Hiroshi

渡部 裕司 WATANABE Yuji (43)

北海道伊達市有珠モシリ遺跡発掘調査概要報告4

青野 友哉 AONO Tomoya

永谷 幸人 NAGAYA Yukihito

三谷 智広 MITANI Tomohiro

中村賢太郎 NAKAMURA Kentaro

パレオ・ラボAMS年代測定グループ

Paleo Labo AMS Dating Group (49)



TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN

2024年

東北芸術工科大学

歴史遺産学科

東北芸術工科大学

歴史遺産研究

第18号 2024年

目次

Contents

論文

民俗行事における外部者と情報保存における困難

— 山形県上山市における民俗行事「加勢鳥」を事例に —

松田 俊介 MATSUDA Shunsuke 1

近世村落における里修験の社会的役割

— 栃木県日光市瀬尾地区「仙学院」を事例に —

加藤 彩花 KATO Ayaka 11

土製耳飾の形態分類による遺跡間関係の把握

— 縄文時代後・晩期の群馬県域と長野県域の事例 —

松原 奈々 MATSUBARA Nana 23

近世東北大名家墓所における五輪塔の型式学的研究

— 変遷と地域性 —

吉田 麻鈴 YOSHIDA Marin 33

報告

山形県酒田市生石2遺跡発掘調査概要報告3

青野 友哉 AONO Tomoya

北野 博司 KITANO Hiroshi

渡部 裕司 WATANABE Yuji 43

北海道伊達市有珠モシリ遺跡発掘調査概要報告4

青野 友哉 AONO Tomoya

永谷 幸人 NAGAYA Yukihito

三谷 智広 MITANI Tomohiro

中村賢太郎 NAKAMURA Kentaro

パレオ・ラボAMS年代測定グループ Paleo Labo AMS Dating Group 49

2022年度 歴史遺産学科 卒業論文

《考古学》

- 鈴木 笑葉 石錘の重量と遺跡立地からみた縄文時代の網漁
- 鈴木 佳奈 有珠モシリ遺跡動物遺存体から見た動物利用の特徴
- 加賀美宏輔 アイヌ文化期における刀剣利用の変化
- 岡山 慧 AI技術を用いた縄文原体の判別方法の開発
- 磨 光輝 北海道有珠モシリ遺跡出土石器における使用パターンとその性格－使用痕研究を通じて－
- 松原 奈々 縄文時代後・晩期の土製耳飾からみる遺跡間ネットワーク
－群馬県域・長野県域における地域差－

《考古学・歴史遺産マネジメント》

- 薄田 蓮 東北地方の銭貨－銭種・収納容器等の比較による地域性について－
- 吉田 麻鈴 近世東北大名家墓所における五輪塔の型式学的研究－変遷と地域性－
- 岡田 芽生 江戸期の絵図からみた酒井家墓所の景観の変遷
- 柴田 真央 重要伝統的建造物保存地区における災害対策の現状と課題
－村田町村田伝統的建造物保存地区を事例に－
- 柴田 桃花 増田伝健地区における対雪活動の現状と今後の対雪活動の課題検討
－資料調査と聞き書き調査を基に－
- 岡田 七海 古墳整備におけるガイダンス施設の役割－壬生古墳群整備からの検討を通して－
- 渡邊 亮 松が岬公園の土地利用の変遷－顕彰するものと消失するもの－

《文献史学》

- 芦野 七海 村山の農兵取立てと地域社会－農兵頭・堀米四郎兵衛を中心に－
- 高橋 芽生 格知学舎の教育史的性格と「真宗道場」的機能－「格知寮日記」に見る塾頭と門弟の姿－
- 土井愛夕美 精神更生と山形新聞にみる山形県の経済更生運動
- 馬場 達也 龕について－白鷹町横田尻地区 笠松の龕を題材に－
- 加藤 彩花 現代に生きた里修験－地域社会における宗教生活の変容と里修験の社会的役割－

《民俗・人類学》

- 本間 健汰 農耕地帯の多様性からみる大崎耕土－宮城県大崎耕土を事例として－
- 畑山 洸太 コロナ禍での加勢鳥開催に見る地域行事と運営体制のあり方
- 福田 清華 養蚕信仰をとまなうオシラサマ－山形県最上郡戸沢村を事例として－
- 外山 匠 競走馬にみる日本人の意識－引退馬支援団体の活動と競馬場の観戦者から－
- 大友 竣平 人名と避諱に関する研究－米沢藩上杉家を事例に－
- 渡邊 佑夏 鮭の大助の民話類型研究－伝承の伝播と変化 山形県の事例より－
- 廣瀬 拓海 灯台の記憶と振興活用－鼠ヶ関灯台を事例として－
- 高橋蒼一郎 観光地における戦国武將を活用した振興について－宮城県仙台市を中心に－

《民俗・人類学》

- 村山 大地 イノシシとヒトの相克－天童市田麦野地区の事例から－
- 尾崎 鈴寧 八戸市小中野の諸相－新むつ旅館とその界限－
- 菊地 望 日立風流物の現状と課題
- 阿部 丈朗 西馬音内盆踊りの始まり－伝統芸能の継承と持続－
- 太田 峻平 塩竈市沿岸地域の景観変遷－高度経済成長期を中心とした歴史動態的研究－
- 山本 羽那 バンカラを取り巻く環境と時代の関係－岩手県のバンカラ校の事例から－

2022年度 芸術文化専攻歴史文化領域 修士論文

《修士論文》

- 鈴木 大翔 副葬専用の石鏃の判断－石鏃の形態差と規格差からの検討－

東北芸術工科大学『歴史遺産研究』寄稿要項

1. 歴史遺産研究は東北芸術工科大学歴史遺産学科に関連する諸科学に関する論文・研究報告、調査報告等を掲載・発表することにより、学科教育と研究の発展に寄与するものである。
2. 歴史遺産研究に投稿することができる者は、以下の通りとする。1)東北芸術工科大学の教職員(同客員、非常勤の教員を含む)、2)東北芸術工科大学の名誉教授、3)その他、歴史遺産学科において適当と認められた者。
3. 原稿執筆における使用言語は日本語・英語を原則とする。
4. 寄稿する原稿には英文タイトルを添付する。
5. 原稿はA4版横書き、1頁2段組で2,050字(25字×41行)とし、十分な余白を取る。(図、表、写真、図版などはそれぞれ別頁として準備する。さらにそれらのキャプションを別途準備する)。図版類の版下は1頁縦22cm×横14cmとする。
6. 原稿はパソコンで作成し、原稿の提出先は東北芸術工科大学歴史遺産学科とする。
7. 掲載した1原稿につき、別刷り50部までを無償とし、それ以外は筆者の負担とする。
8. 歴史遺産研究に掲載された論文等の著作権は歴史遺産学科に帰属するものとする。

執筆者紹介

青野 友哉 (東北芸術工科大学芸術学部 准教授)

北野 博司 (東北芸術工科大学芸術学部 教授)

渡部 裕司 (酒田市 企画部)

永谷 幸人 (伊達市噴火湾文化研究所)

三谷 智広 (パレオ・ラボ)

中村賢太郎 (パレオ・ラボ)

松田 俊介 (東北芸術工科大学芸術学部 専任講師)

加藤 彩花 (日光市教育委員会)

吉田 麻鈴 (南相馬市教育委員会)

松原 奈々 (燕市教育委員会)

東北芸術工科大学
歴史遺産研究 第18号/2024

令和6年3月31日 発行

編集・発行 東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科

〒990-9530 山形市上桜田3-4-5

印刷 株式会社大風印刷



TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN

Bulletin of the Department of Historic Heritage, Tohoku University of Art & Design

Vol.18 2024

Table of Contents

Chief Articles

Outsiders and the Difficulty of Knowledge Preservation in Folk Event
– A Case Study of the Folk Event "Kasedori" in Kaminoyama City, Yamagata Prefecture –
MATSUDA Shunsuke (1)

The Social Role of Sato-Shugen in Early Modern Local Communities
– A Case Study of "Sengakuin" in Senoo District, Nikko City, Tochigi Prefecture –
KATO Ayaka (11)

Classification of Clay Ear Ornament Forms and
Designs Reveals Networks among Related Sites
– Cases of Gunma and Nagano Prefectures in the Late and Final Jomon Period –
MATSUBARA Nana (23)

A Typological Study of Gorinto Pagodas in the Cemeteries of the
Great Families of the Tohoku Region in the Early Modern Period
– ransition and regionalism –
YOSHIDA Marin (33)

Research notes

Overview on Archaeological Excavation of the Oishi 2 site in
Sakata City, Yamagata Prefecture, Vol.3
AONO Tomoya
KITANO Hiroshi
WATANABE Yuji (43)

Overview on Archaeological Excavation of the Usumoshiri site in
Date City, Hokkaido, Vol.4
AONO Tomoya
NAGAYA Yukihiro
MITANI Tomohiro
NAKAMURA Kentaro
Paleo Labo AMS Dating Group (49)